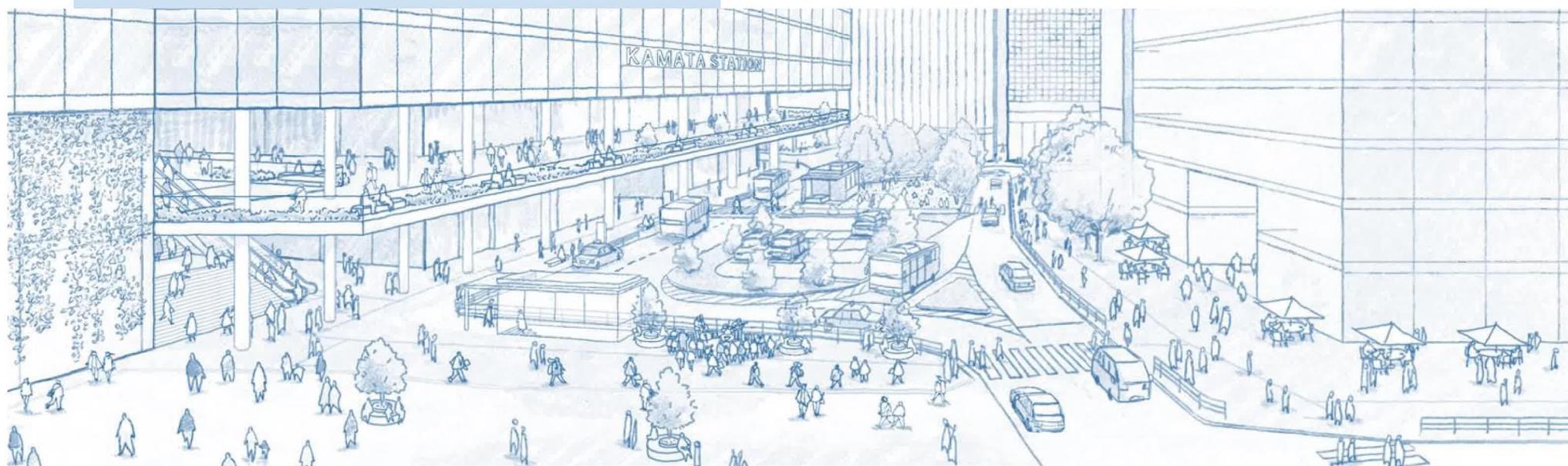


蒲田駅周辺再編プロジェクト (蒲田駅周辺交通戦略)



令和8年1月 大田区

目次

章	項目		
1. 背景と目的	背景と目的	3	
	対象区域	3	
	計画の位置づけ	3	
2. 地区の現状と課題	社会的潮流	5	
	京浜東北線沿線の開発動向	8	
	蒲田らしさとは	9	
	蒲田地区における現況の交通	10	
	蒲田地区の課題	14	
3. まちの将来像とまちの実現に向けた方針	まちづくりを考えていく上の視点	15	
	蒲田駅を中心とする地区のまちの将来像	17	
	まちの将来像を実現するための基盤方針	18	
4. 交通戦略の考え方	蒲田駅周辺地区の交通基盤の考え方	20	
	蒲田駅周辺の歩行者動線イメージ	22	
	歩行者ネットワーク	23	
	自転車ネットワーク	24	
	自動車ネットワーク	25	
	蒲田駅周辺の全体像 (将来交通ネットワークとまちづくりの姿)	26	
	まちづくりの進め方	28	
5. 駅前の整備方針	5-1 方針	駅と東西駅前広場のイメージ	29
		駅と駅前空間の中期の整備方針	30
		東西自由通路・北側連絡通路	31
	5-2 個別の整備内容	広場デッキ	32
		新空港線との乗換空間の整備	33
		東口駅前広場（中期） <グランドレベル・デッキ階レベル>	34
		中期整備完了時の将来イメージ図（パース）	36
	5-3 長期整備の概要	蒲田駅周辺のまちの発展イメージ（長期）	37
	6. 将来像の実現に向けて	ロードマップ	39
		実現に向けた数値目標(KPI)	40
関係者・役割分担		41	
推進体制・評価・見直し		41	

はじめに

平成25（2013）年の「蒲田周辺再編プロジェクト」策定後、蒲田駅周辺では、西口駅前広場の初動期整備が完了し、東口では、駅前広場や地下自転車駐車場の整備が進められております。

蒲田駅は都内でも乗降客数の多い駅の一つで、駅と直結した東西駅ビル等などの商業施設が集積しています。駅周辺では、都内有数の繁華街が形成されており、路面店を中心に、地域に根差した豊かな生活文化が育まれております。一方で、JR線によって東西が分かれていることに加えて、朝夕のラッシュ時には、東西連絡通路や駅前広場が歩行者で混雑するなど、利便性・快適性の面で課題も見られます。

JR線沿線の他駅に目を向けますと、操車場跡地等のまとまった土地において大規模開発が進行し、都市間競争が激化しております。

大田区の中心拠点である蒲田を将来にわたって持続的に発展させていくためには、新空港線整備と一体となって蒲田駅周辺のまちづくりを進めていくことが極めて重要です。そのため、新空港線事業化を見据えて「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を改定いたしました。

本プロジェクトでは、令和4年（2022）に策定した「蒲田駅周辺地区基盤整備方針」を具体化し、蒲田駅周辺地域の魅力を一層高め、多くの人々が訪れ、歩きやすく心地よいウォーカブルなまちづくりを目指しております。

その実現に向け、公民連携による魅力的な駅まち空間の再編、歩行者にやさしい街路整備及び地元商店街との連携強化など、多角的な取り組みを通じて、地域の個性を最大限に生かす施策を推進してまいります。

改定にあたり、関係機関・関係事業者と協議・調整を行うとともに、区議会や学識経験者、自治会・町会、商店街などの地元関係者が参加する「蒲田都市づくり推進会議」等のご場でご議論いただきました。これらを踏まえて、昨年11月に素案を取りまとめ、パブリックコメントを実施し、いただいたご意見・ご提案を反映して、「改定蒲田駅再編プロジェクト」を取りまとめました。改めて関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本プロジェクトの推進には地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。蒲田らしさを継承しつつ、新空港線整備とともに駅とまちが一体となったにぎわいあふれる蒲田の実現に向けて、引き続きご支援をお願い申し上げます。

令和8年1月

大田区長 **鈴木晶雅**